

# Tomorrow Augmented

本レポートは、アクサ・インベストメント・マネージャーズ（アクサIM）のリサーチ専用ウェブサイト

「[Tomorrow: Augmented](#)」に2021年5月13日付で掲載された英語原文を抄訳したものです。なお、英文の原文と翻訳内容に齟齬がある場合には原文が優先します。オリジナルの英語版は[こちら](#)をご覧ください。

## 世界的な半導体不足にもかかわらず、半導体セクターの成長継続を予想する理由

アクサIM ロボテック戦略ポートフォリオ・マネージャー、トム・ライリー

半導体不足が世界中でサプライチェーン問題を引き起こしています。しかし、一部の半導体エンドユーザーに短期的な混乱・中断があったとしても、強い需要とイノベーションの継続は、半導体メーカーおよびその投資家にとって恩恵であり続けると当社は考えます。

過去数カ月、自動車メーカーから家電産業に至るまで半導体の供給不足が問題となっています。ボルボおよびジャガーランドローバー<sup>2</sup>が供給問題が解決するまで生産停止となる見通しを発表し、アップルを含むIT企業もまた影響を受けました<sup>3</sup>。

半導体不足の理由は主として新型コロナウイルス・パンデミックにあります。これだけではありません。昨年、半導体の生産および出荷は、世界的なロックダウン（都市封鎖）、工場の閉鎖、受注の取消し、輸送制限により妨げられました。

それと同時に消費者が自宅待機を強いられている間に、ホームエンターテインメントシステムや家電製品などの新品を購入したり買い替えたりしたことから、半導体を使用する多数の商品需要が急増しました。レイオフや失業により収入が減少した世帯があるものの、出勤やレジャーへの出費がなくなりゆと

<sup>1</sup> [Shortage of semiconductors impacting production \(volvogroup.com\)](#)

<sup>2</sup> [Jaguar Land Rover to suspend output due to chip shortage - BBC News](#)

<sup>3</sup> [iMac and iPad Production Will Be Delayed Due to Chip Shortage \(businessinsider.com\)](#)

りが出てきた世帯もあります。これはゲーム機やスマートフォンのような製品に費やすお金が増えたことを意味します。米国政府による景気刺激策の一環で国民に支給された小切手もまた、家電製品への消費を促しました<sup>4</sup>。

ワクチンが展開し経済が再開するにつれ、自動車などの高額商品の需要も回復<sup>5</sup>したことで、半導体の供給不足がさらに悪化しています。

### 需要が利益成長を下支え

サプライチェーン問題を起こした要因は、パンデミック以外にもあります。米国では冬の嵐が年初にテキサス州を襲いましたが、同州は大手半導体企業数社の拠点であり、電力が家庭の暖房用に優先的に供給されたため半導体製造工場が閉鎖されました<sup>6</sup>。また、自動車産業の最大手半導体サプライヤーのひとつ、ルネサスエレクトロニクスの日本の工場が火災に遭い、出荷が遅れる旨の発表を余儀なくされました<sup>7</sup>。

半導体メーカーは増大した需要に応えるため、できる限り生産ペースを上げていますが、半導体の製造には時間がかかり、生産能力も簡単に拡大できるわけではありません。半導体生産は高度に精緻な工場における複雑な工程を通じて通常3カ月以上を要する<sup>8</sup>ため、メーカーは需要を前もって把握する必要がありますが、パンデミックの時期にはそれが困難でした。

これらの要素が重なり世界的な半導体不足が起きました。当社ではこれは一時的な問題であり、今年の後半から2022年に入る頃には需給バランスが正常化し始めると予想しています。

半導体不足の結果として投資家が注目すべきことは、半導体メーカーが価格決定力を強めていることです。これは半導体セクターの利益成長の下支えになるでしょう。また半導体企業は、これを機に生産能力を拡大する可能性もあります。例えばTSMC（台湾積体回路製造）は最近、今年の売上高成長目標を引き上げ、急増する需要を背景に生産設備への投資を拡大すると発表しました<sup>9</sup>。

---

<sup>4</sup> [Americans use their \\$1,200 stimulus checks to splurge at Walmart, Target, BJ's and Best Buy — here's what they're buying - MarketWatch](#)

<sup>5</sup> [Auto sales surge in April in US, China sales rise for 12th straight month \(agmetalmminer.com\)](#)

<sup>6</sup> [Texas Winter Storm Strikes Chip Makers, Compounding Supply Woes - WSJ](#)

<sup>7</sup> [Factory blaze adds to computer chip supply crisis - BBC News](#)

<sup>8</sup> <https://www.bloomberg.com/graphics/2021-chip-production-why-hard-to-make-semiconductors/?sf245662545=1>

<sup>9</sup> [TSMC Sets Up for Soaring Chip Demand - WSJ](#)

## 長期的かつ構造的なトレンドが成長を牽引

当社では最近の需要の高まりを受け、ポートフォリオにおいて一部半導体メーカーのポジションを積み増しました。半導体不足はどちらかといえば短期的な問題であり、半導体セクターの成長を牽引している長期的かつ構造的なトレンドはこれからも続くと当社は考えています。

調査会社のガートナーグループによれば、2020年の世界の半導体売上高は、前年比10.4%増の4,662億ドルに上りました<sup>10</sup>。米国半導体工業会は、今年1～3月期の世界の半導体売上高が前年同期比で17.8%増となったと発表しました<sup>11</sup>。

過去数年間にデジタルトランスフォーメーション（DX）が進み、半導体技術の進化が伴ったことで、半導体の新たな市場が広がっています。

次世代スマートフォンやソフトウェアの継続的な開発が半導体需要を大きく牽引する一方、パンデミックによりデータセンターの利用増、モノのインターネット（IoT）、産業のデジタル化など、半導体業界への追い風となる幾つかのトレンドが加速しました。

多くの消費者がロックダウン中にホームエンターテインメント機器を購入しただけでなく、自宅からより容易に仕事できるように、新たにデバイスを購入しました。多くの会社員にとってオフィス勤務と在宅勤務を合わせたハイブリッドの勤務形態が「ニューノーマル」になったことで、半導体の継続的な需要がさらに増えるでしょう。

同時に、ソーシャルディスタンスの必要性は産業関連IoTへの関心を高めています。工場や倉庫では従業員の安全を維持する費用の長期的な上昇が予想されるため、機械に内蔵された半導体が工場や倉庫で情報を伝達・処理・分析するために用いられます。

産業から医療に至るセクターで使用される人工知能（AI）もまた、パンデミック中に再び注目されています。AIはパンデミック以前からすでに成長傾向でしたが、当社では今後もこれが続くと考えています。半導体メーカーのエヌビディアは、データセンターから産業、ビデオゲーム機から自動運転車まで、AI分野で幅広いエンドマーケットをもつ企業です。

---

<sup>10</sup> [Gartner Says Worldwide Semiconductor Revenue Grew 10.4% in 2020](#)

<sup>11</sup> [Q1 Global Semiconductor Sales Increase 3.6% Over Previous Quarter - Semiconductor Industry Association](#)

完全な自動運転車の実現にはまだ遠いものの、関連技術はたえず進化しています。各国政府の温室効果ガスネットゼロ目標は近い将来、ガソリン車から電気自動車（EV）への転換を加速するでしょう。自動運転車や EV は様々な目的で半導体を使っており、バッテリーから緊急ブレーキシステムに至ります。

### 半導体が中心的役割を果たす

当社は、半導体業界の投資機会はまだ比較的早期の段階にあると見ています。半導体分野およびその周辺では今後も成長が続くと考えます。世界的な半導体不足が広く報じられたことで、半導体が私たちの日常生活でどれほど不可欠であるかを思い知らされました。そして、企業や消費者はかつて以上に「つながり」つつあり、娯楽からショッピング、ひいてはエネルギー移行に至るまで、様々な問題を解決するために半導体を使った新たなプロセスや機器を活用しています。

当社はこのトレンドが継続し、2020 年代が未曾有のイノベーションの 10 年になること、そして半導体がある中で中心的な役割を果たすと予想しています。

### ディスクレーマー

#### アクサ IM について

アクサ・インベストメント・マネージャーズ（アクサ IM）は責任ある資産運用会社であり、長期的なアクティブ運用を行うことで、お客様、従業員、そして世界の繁栄を支援しています。当社の確信度の高い運用アプローチにより、代替資産クラスおよび伝統的資産クラス全般で最も良好な投資機会と考えられるものを追求しています。2021 年 3 月末時点で約 8,690 億ユーロの運用資産残高を有しています。

アクサ IM は、グリーン、社会、サステナブル市場における先進的な投資家であり、2020 年 12 月末時点で 5,550 億ユーロにおよぶ ESG（環境、社会、ガバナンス）統合済みのサステナブルおよびインパクト資産を運用しています。当社は、2050 年までに、全運用資産における温室効果ガス排出のネットゼロ達成をコミットしており、株式銘柄選択から企業行動や文化に至る当社の事業に ESG 原則が組み込まれています。当社の目標は、社会と環境に有意義な変化をもたらしつつ、お客様に真に価値のある責任投資ソリューションをご提供することです。

アクサ IM は 20 カ国 27 拠点において 2,440 名余の従業員を擁し、グローバルな事業を展開しています。アクサ IM は、世界最大級の保険および資産運用グループであるアクサ・グループの一員です。

#### 投資リスク及び費用について

当社が提供する戦略は、主に有価証券への投資を行いますが、当該有価証券の価格の下落により、投資元本を割り込む恐れがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動によっては投資元本を割り込む恐れがあります。したがって、お客様の投資元本は保証されているものではなく、運用の結果生じた利益及び損失はすべてお客様に帰属します。

また、当社の投資運用業務に係る報酬額およびその他費用は、お客様の運用資産の額や運用戦略（方針）等によって異なりますので、その合計額を表示することはできません。また、運用資産において行う有価証券等の取引に伴う売買手数料等はおお客様の負担となります。

#### 【ご留意事項】

当資料は、金融商品取引法で定義されている適格機関投資家を対象としております。

当資料は、アクサ・インベストメント・マネージャーズの情報提供に基づき、アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社が翻訳・作成した資料です。

当資料は、情報提供を目的としたものであり、特定の有価証券その他の投資商品についての投資の勧誘や売買の推奨を目的としたものではありません。

当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成しておりますが、正確性、完全性を保証するものではありません。当資料の内容は、作成日時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に記載された運用実績等に関するグラフ・数値等はあくまでも過去の情報であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

当資料を事前の了承なく複製または配布等を行わないようにお願いします。

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

金融商品取引業者 登録番号: 関東財務局長（金商） 第 16 号

加入協会: 一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人投資信託協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、日本証券業協会

Ref-21099